

## 北山川観光筏下り再開にあたって

8月1日（金）に発生しました事故を受け運航を中止しておりました北山川観光筏下りですが、8月8日（金）より運航を再開することが決定いたしました。

運航再開の条件としておりました筏全コースの安全確認については、事故現場の岩にあて木を設置し、試験下りを数回行うことで安全を確保いたしました。また、事故によって負傷された方々にも、安全対策についてご理解をいただき、再開についてのご了解を得ることができました。

今回の事故が発生したことを真摯に受け止め、再発防止に努めていく所存ですので、今後とも皆様方の暖かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

### ○事故の概要について

事故発生日 平成20年8月1日 午後1時30分～40分頃

場 所 音乗り筏乗り場下流約1kmの北山川左岸側

(川名通称 焼山の瀬)

## 状 況

北山川観光筏第2便、1号筏が北山川左岸の岩に当り、1番床、2番床を擦りながら通過したが、3番床が水中の岩に当り衝撃が生じ、その際、乗客が前に倒れ、手すりや他の乗客に衝突し負傷する。

### 負傷者について

乗船者15名のうち、9名（男性2名、女性7名が負傷する。）66歳男性が左手首骨折、41歳女性が左目まぶたを数針縫う怪我をする。他は打撲や擦り傷等の軽傷。

### 筏師について

3名で運航を行っており、各筏師の経験年数は、1、先乗り（11年目） 2、舵取り（6年目） 3、後乗り（3年目）となっており、ベテランの筏師を含めた体制とし、安全な運行を確保していた。

## ○事故原因

筏下りは、自然の川の流れを下っており、毎日変わる流れや風を筏師が判断しながら緊張感を持って運航をしている。

事故現場については、川の流れがあるため、また、その下流の岩を避ける必要があるため、左岸を通ることは避けられない状況である。

同じ筏師のメンバーで、何度も通過していた箇所であるが、今回の事故については、1番床、2番床は通れたが、3番床が流れの影響もあり水中の岩に当り衝撃が生じた。

原因としては、自然の川の流れの中で生じたものであり、複合的な要因と考えられるが、事故が発生したことについては、乗客の皆様には一切関係がなく、全てが北山村の責任に帰するものである。

#### ○安全対策の内容

- ・ 事故現場の焼山の瀬の岩にあて木を設置（写真1）
- ・ 試験下りを行い、筏師全員による安全運航実地研修を実施し、事故現場以外に対策が必要な場所はないか確認
- ・ 筏の手すり及び椅子の角に衝撃吸収材を設置（写真2）

#### ○事故発生以降の経緯

8月1日 午後1時30分～40分頃事故発生

8月2日 事故対策委員会を設置し検討。安全確認及び事故により負傷

された方々の了解や関係機関等への報告協議等必要な処理が  
なされるまでの間は筏の運行を中止すること並びに試験下  
り・安全運航実地研修を行うことを決定

8月3日 事故対策委員会による試験下り及び筏全コースの危険個所の  
確認

8月4～5日 試験下り及び事故現場の焼山の瀬にあて木を設置（写真  
1）

8月5日 関係機関への報告協議及び事故についての記者会見、筏師に  
よる試験下り

8月2日～5日 負傷された方々宅への村長及び職員によるお詫びと御  
見舞

8月6日 北山村議会総務建設委員会で安全対策についての最終確認  
事故対策委員会にて、最終安全確認のための試験下り  
負傷された方々に連絡を取り、観光筏再開への了解を得る

8月8日 北山川観光筏下り再開

写真 当て木



衝撃緩衝カバー

